

JARL

香川クラブ報

No. 451 令和5年10月15日



J A 5 Y D E

クラブミーティングのご案内

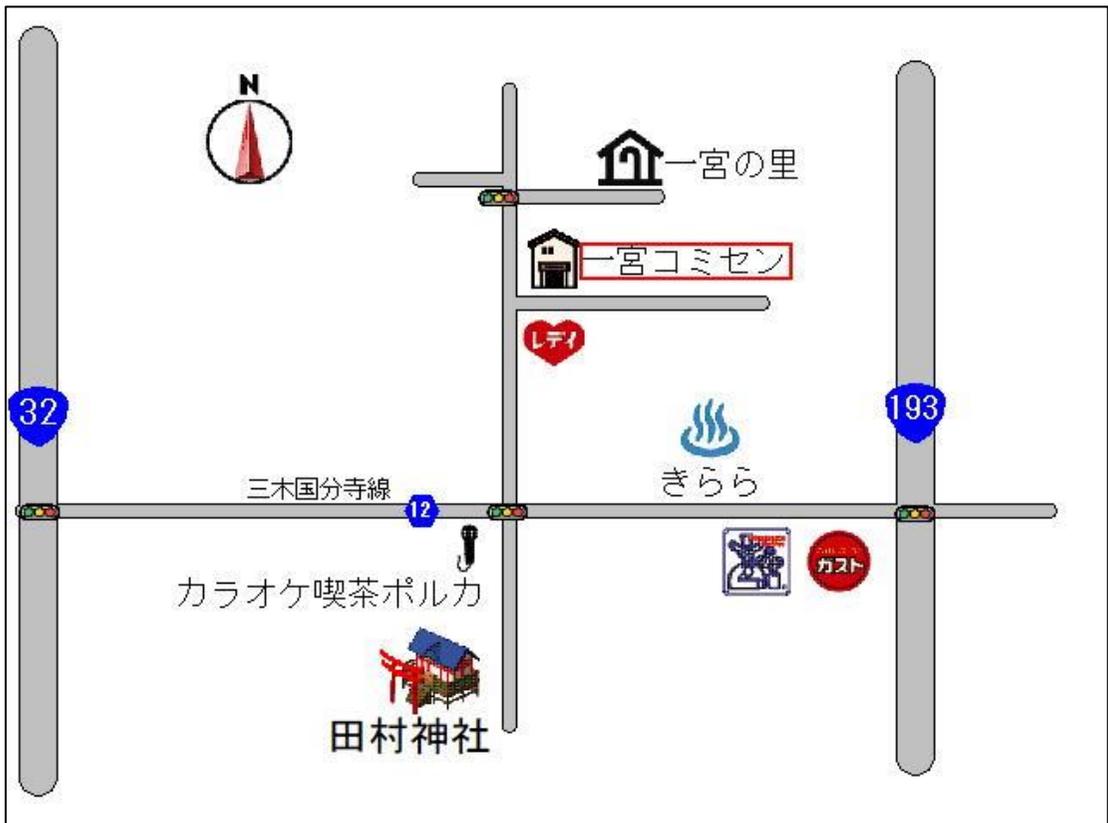
8月9日と特別な暑さが過ぎてやっと例年並みなのか気温も落ち着いて来たようです。昨年も夏の終わりが大変だったように思い出されますが会員の皆様体調を壊していませんか。

5月に新型コロナが5類に分類されてからも流行は収まっていません。インフルエンザも同時流行しており、こんな時熱が出るとあたふたしますね。

今年の香川マラソンコンテストや忘年会について、打ち合わせを致したくクラブミーティングを開催いたします。ご多忙中とは思いますがお誘いあわせの上多数のご出席をお願い致します。

記

- 日 時： 令和5年10月20日(金) 18:30~20:30
場 所： 高松市一宮コミュニティセンター
高松市一宮町 838-1
TEL087-886-4793
議 題： 1. 香川マラソンコンテスト
2. 忘年会
3. その他



2023香川県支部ARDF競技大会のご案内

「2023香川県支部ARDF競技大会」を下記の通り開催いたします。

記

日時 2023年11月12日(日) 午前9時より受付
場所 香川県木田郡三木町(後日参加申込者へ資料送付)
参加資格 JARL会員・非会員を問いません
参加費 大人2,000円、19歳未満1,000円。ただし傷害保険費を含む
競技方法 JARL制定(令和2年4月1日施行)のARDF競技実施法による
周波数 144MHz帯(当日指定) 電波形式 A2A
参加部門 W12、W15、W19、W21、W35、W45、W55、W65、
W70、M12、M15、M19、M21、M40、M50、M60、
M70、M75の各クラス。

申込要領 氏名、コールサイン、生年月日、郵便番号、住所、電話番号、参加クラス、当日の弁当の要・不要を記入した申込書(JARL制定書式推奨)とSASE(自分の宛名を記入した封筒に84円切手を貼った返信用封筒)に、弁当が必要な方は弁当代金600円を追加して小為替を同封し下記まで申込み下さい。銀行振込をご希望の方は、メールにてお問い合わせください。(ゆうちょ銀行口座をご案内します)

申込は「E-mail」でも受け付けますが、参加者への案内も「E-mail」で送ります。なお、中止以外は参加費の返金を行いませんのでご了承下さい。

申込先 〒

申込締切 2023年11月2日(木)必着

審判募集 審判員を公募しますので、ご希望される方はハガキ又はE-mailで郵便番号、住所、氏名、コールサイン、電話番号および審判員資格者証番号を記入して11月2日(木)迄に申込先へ送付して下さい。

また審判員資格者でない方で競技のお手伝いを頂ける方は、ご一報をお願いします。

以上

電子ログで QSL カード請求

JL5SAI 平田昌三

ベランダに建てた小ぶりのアンテナでも、コンディションによって、信じられないくらい遠方と交信できるという経験を何度かしました。

そんな中ある時、7MHz 帯の下のほうで、ものすごいパイルアップになっている状態を発見。何が起きているか分からなかったのですが、しばらく観察していると、パイルが静まった時に少し離れた周波数で応答している局を発見。聞いたことがないプレフィックスだったので、あ、これが DX ペディションというやつか、と理解しました。

ものすごいスピードの CW で、何回も聴いてようやく理解したのは、「東ティモールの局」「スプリット指定」「エリア指定」ということ。呼んでいる局の信号が軒並み強力で、自分が呼んでも取ってもらえないだろうなと思い、しばしワッチしていました。すると、徐々に交信成立した強力な局が去っていき、目立って強い信号が少なくなっていました。何度か呼んでみると応答あり。聞き取りにくいのかミスコピーされましたが、何度かコールサインを送り、ペディション局というものと初めて交信成立。電子ログへの入力とアップロードを行い、一連の作業を完了させました。(JL5SAI というコールサインは CW では短点が多く、正しく取ってもらいにくいのです)

電子ログについては、以前に寄稿したとおり、次のシステムを使っています。

- Turbo HAMLOG
- LoTW (アメリカ ARRL が運営する電子ログ)
- QRZ.com (ハムのプロフィール紹介サイト)
- eQSL (画像形式の QSL カードを交換できる電子 QSL)
- Clublog (データにより QSL 照合する民間運営の電子ログ。海外を含めたエリアごとの QSL 達成状況が確認できる)

このうち、最後の Clublog はこれまで重要視していなかったのですが、「OQRS (オンライン・QSL・リクエスト・システム)」という、相手局に QSO カードをダイレクトに請求できる仕組みがあることを思い出し、もしかしてと思い、後日 Clublog のログを確認してみました。すると・・・

| | | | | |
|--------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------|
| TIMOR-LESTE | <input type="radio"/> | <input checked="" type="radio"/> | <input type="radio"/> | 4W1A [40M CW] |
| UNITED STATES OF AMERICA | <input checked="" type="radio"/> | <input checked="" type="radio"/> | <input checked="" type="radio"/> | K3EST [15M CW] |
| WEST MALAYSIA | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input checked="" type="radio"/> | |
| WESTERN KIRIBATI | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input checked="" type="radio"/> | T30UN [10M Data] Matched OQRS |

これまた偶然 FT8 で交信できた、「西キリバス」という南太平洋の島の DX ペディション局が、OQRS を受け付けていることが確認できました。せっかくなので、請求してみることになります。ここから先は、Clublog で OQRS を「請求」してみた記録です。

- (1) 上記の「OQRS」リンクを開くと・・・
- (2) 6米ドル支払うと QSL 請求ができるという案内が出ます。

IC-706 液晶画面修理

JG5JXW 坂井進史

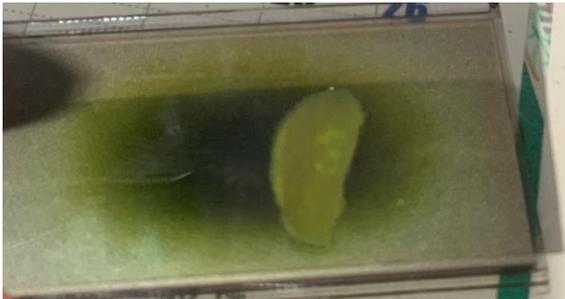
随分前から、愛用の IC-706 が液晶画面のくすみで見えにくくなっていました。「ピネガーシンドローム」という現象です。以前にネットで調べて修理に挑戦したのですが、その時はうまく直りませんでした。

その後しばらくして『HAMWorld』と言う雑誌で特集記事があり、同じ直し方が掲載されていました。しかし一度失敗しているのでも、今回もどうせダメだと思いながらも、記事をよく読んでみると「接着剤の残りかすが残っている」と書いてあり、根気よく綺麗にしないといけない事に気がつきました。そう言えば、そんなに根気よく作業しなかったなあ〜と反省。



～修理作業実行～

私の少ない、夏休み最後の日（8月15日）は台風接近により、外にも出られず他にやることも無かったので、重い腰を上げて作業にかかりました。キムワイブに無水エタノールを含ませて、ゴシゴシやった上から偏光フィルムをかざしてみると・・・接着剤が取れたところだけは綺麗になり、よ〜く見るとフィルムが1枚剥がれず残った状態でした。隅の方はまだ病んでない状態だったので、カッターの刃を入れて剥がすと、中央部の黒ずんでいる部分はボロボロになっていました。



綺麗に除去するのは大変だったので倉庫にあった「シール剥がし」スプレーでも試してみましたが、効果については無水エタノールと変わらず。シール剥がしスプレーは匂いがきついので無水エタノールで引き続き作業を進めました。中央部分はキムワイブで擦り、ガラス周辺部は手を怪我しそうだったので、太めの綿棒に無水エタノールを含ませてゴシゴシやりました。偏光フィルムをかざしてみても綺麗になった感じになったので、組み立てて電源投入！

成功です！（右の写真）



～動作確認～

次の休みに、自作アンテナの動作確認を兼ねて移動運用に行き、実際に運用をしてみました。すると画面右下がチラチラする。左の写真で「M1 SPLA」の右横の「/B」が当たり消えたりしている。よく見ると、一番下の行が半分しか表示されていません。



組み立てるとき、ガラスの上下を挟む「導電ゴム」の取り付けががイマイチだった気がしたのに、そのまま組み立てたのが原因か？と考えながら家に戻りました。

家に戻ってから、少々手間取りながらも組立直したら綺麗に表示がでるようになりました。少し表示が薄いように感じますが、交換前からこの程度の薄さだったように思います。古い機械ですから

ある程度は仕方ないし、もう一度組み直すのも面倒くさいです。

～痛恨のミス～

それよりも、痛い失敗をしてしまいました。外側のケースを開けるときの、無線機本体と表示パネルを止めるツメがどこかに飛んでいったようです。組み直しの作業の時は、手順を覚えていたのであまり気にもとめずにチャツチャカ、チャツチャカ外していったのが失敗の原因。初めての時は説明書を見ながら慎重に外していたし、雑誌の記事にも「無くすから慎重に」と書かれていたのでその時は気をつけていました。小さいバネは椅子の下で発見したけど、ツメ本体が見つからないままです。部屋のどこかに落ちているのは間違いないので、その内ひょっこり出てくるでしょう。無くてもパネルは止まっているし電源も入るから、テープで止めれば運用はできる…と思っています。



偏光板は小さいサイズを Amazon で 10 枚 300 円強という非常に得なお値段で販売していました。まだ 9 枚残っていますから、チャレンジしたいと思う方には差し上げます。失敗はありましたが、修理自体はうまくできたと自己満足に浸っています。愛着もわいてきたことだし、また改めて移動運用に行きたいです。

クラブ報の原稿依頼及び送付先

身近な出来事、旅行記、自身のハムライフ、掲載要望などのジャンルは問いません。
原稿サイズ：B5サイズ 出来ればWordで作成しメール、電子メールが無い場合はfaxか郵送。

送 付 先：E-mail

Fax

郵 送 先：〒

★★★ 新入会員募集中 ★★★

JARL香川クラブでは新会員を募集しています。

今年はクラブ結成75年(1948年10月結成)になります。

そこで更なる飛躍と新たな歴史を築いていかなければなりません。

クラブに新風を吹き込むと同時に、活性化のためにも新会員の募集にご協力ください。

*お知らせ

JARL香川クラブでは、会員の実態を把握するため、免許状記載事項に変更があったり、新たに無線局の免許状を取得されたりした方は、その都度、お知らせくださいますようお願いいたします。

将来のインターネットサービスに対応して、現在「電子メールアドレス」を取得している方は、差し支えなければ連絡下さい。

会員の皆様には令和5年度分会費納入をよろしくお願ひします

***** 会費納入口座 *****

JARL香川クラブ報

| | | |
|-------|--------|-------|
| 発行責任者 | JH5LYW | 三好 伸幸 |
| 編 集 者 | JA5TOP | 平賀 正明 |
| | J15SAI | 平田 昌三 |
| | J15VUZ | 市原 義博 |
| | J15XTP | 坂内 信洋 |
| | JG5JXW | 坂井 進史 |